

BMZ インソール紹介

医療関係者 -001-



紹介者：奥村 宣久

職 種：作業療法士、精神保健福祉士、介護支援専門員

学 歴：札幌医科大学保健医療学研究科博士課程満期中退

職 歴：北海道厚生連俱知安厚生病院、北海道立精神保健福祉センター、札幌保健医療専門学校（現北海道リハビリテーション大学校）等を経て、北海道文教大学人間科学部作業療法学科 准教授

所属学会：日本バイオメカニクス学会、日本フットケア学会、日本老年精神医学会、日本集団精神療法学会、日本社会精神医学会、他（元北海道作業療法士会副会長）

最初に履いた時に、びっくりしました。体が安定するのと同時に、足がスムーズに前に出ていく感覚は他のインソールにはないものでした。

まさきに思いついたのは、『これは転倒予防に使える！』でした。実際に高齢者に使って頂くと、「体が軽くなった感覚」や「足元の不安がなくなる」という感想が返ってきました。加速度センターのデータでも、左右のブレが減って安定した歩行となることがわかりました。

履いたことによる直接的な効果も大きいのですが、もっと広い意味で効果が期待できるようです。

動きやすくなると運動するようになります。遠くに出かけたりします。久しぶりに趣味に没頭したりもするでしょう。

つまり、生活を豊かにするインソールがBMZです。介護予防にとどまらず、多くの人の健康増進に活用できると思っています。

外反母趾や扁平足、さらに辛い痛みを伴った整形外科的疾患にも効果があるようです。踵の筋の付着部が石灰化して棘のような状態になる「踵骨棘」という症状があります。足をつくと激痛が走り、ひどい時はなにもできないほどです。その方々がBMZを使うと痛みがなくなるのです。

保険適応で購入したインソールも痛みは軽減させるのですが、ごつくて重くて装着できる靴が限られます。おしゃれはあきらめなければなりません。QOLという視点も合わせて考えるとBMZの優位性は大きいと思います。

今、足底筋膜炎のスポーツ選手への応用を研究しています。ただ痛みを取るだけでなく、パフォーマンスの向上をも同時に期待できるインソールとして、検証していこうと思っています。